地震　地震発生リスク

THE すまいのハザードマップ

リスク度合

高

（地震発生）

お住まいの住所における震度6弱以上の地震発生確率(今後30年間)

55.6 %

防災科学技術研究所
確率論的地震動予測地図より　※1

事故発生率ランキング

166 位/1190 （市区郡単位）

全国1190の市区郡における大分県大分市の事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

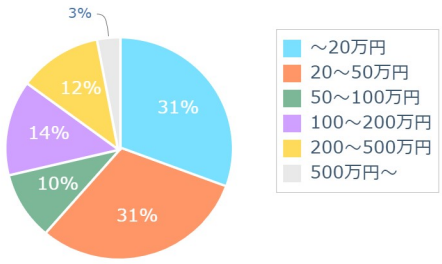
110.1 万円　（全国平均）

お住まいの住所は、地震時に著しく危険な密集市街地に **該当していません。** ※2

お住まいの住所における今後30年間の地震発生確率および建物の被害予測　※3

震度	発生確率	被害予測	
		全壊確率	半壊確率
5強以上	86.9%	0.0%	0.3%
6弱以上	55.6%	2.3%	8.1%
6強以上	14.9%	18.8%	33.7%

1事故あたりの支払保険金の分布（全国平均）



※1　確率論的地震動予測地図とは、全ての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を地図に示したものです。各断層の長期評価による地震発生確率を求め、今後30年間で個々の地点での揺れが、ある震度を上回る確率の分布を表示しています。
本サービスでは、評価された地震発生確率の最大値を用いる「最大ケース」（基準年：2020年）を採用しています。（出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所）
※2　地震時等に著しく危険な密集市街地とは、密集市街地のうち、延焼危険性または避難困難性が特に高く、地震時等において、大規模な火災の可能性、あるいは道路閉塞による地区外への避難経路の喪失の可能性があり、生命・財産の安全性の確保が著しく困難で、重点的な改善が必要な密集市街地をいいます。（出典：国土交通省「地震時等に著しく危険な密集市街地」について）
※3　地震の揺れによる建物への被害予測です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における全壊確率および半壊確率を算出しています。同じ震度でも対象となる建物の状態や地盤の状況により、実際の被害状況は異なります。なお、被害予測における全壊および半壊は、地震保険の損害認定基準とは異なりますのでご注意ください。
（出典：損害保険料率算出機構　地震保険研究８「自治体の地震被害想定における被害予測手法の調査」　村尾・山崎(2002)）

作成日：　2022年8月2日

SOMPO 損保ジャパン